

犬山市産業振興基本条例

条例第17条・・・市は産業の振興に関する施策の検証や充実を図るため、犬山市産業振興会議を設置するものとする

産業施策の充実に向けて

1. 事業者のニーズを把握するために、2種類のアンケート調査を実施します。

①犬山市産業振興補助金の利用者を対象としたアンケート

補助制度を利用した33社（下記参考）へ補助金の効果等の調査する。
調査項目は、

- 補助制度を知ったきっかけは？ ○補助金による効果は？
- 他にどのような事業に対する補助金があると良いと思うか？
- 現在、貴社（貴方）が感じている事業経営上の課題は？ 等

②補助制度の利用者以外にも幅広く市内事業者へのアンケート

産業振興補助金の利用実績に関わらず、補助制度等を利用したことのない事業者も含めて、幅広く意見を聞くため、犬山市広報や商工会議所だよりを活用して調査する。
調査項目は、

- 犬山市の補助制度（産業振興補助金・事業継続補助金）を知っているか？
- どのような事業に対する支援があると良いと思うか？
- 補助金に限らず支援策としてどのようなものがあると良いと思うか？
- 現在、貴社（貴方）が感じている事業経営上の課題は？ 等

※両アンケート共に他にどのような項目について調査すると良いか検討中

※WEB方式の活用により、回答の手間や集計作業に時間をかけずに実施予定

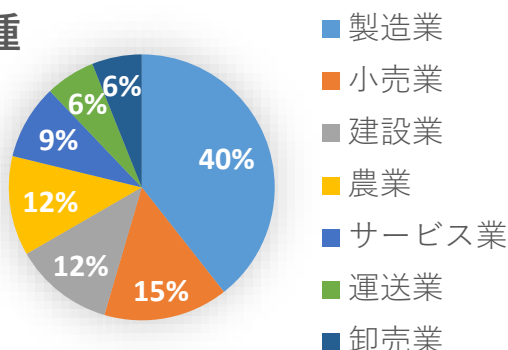
2. 次回の産業振興会議（R7.2月予定）で、アンケート結果の共有と検証を行います。

※検証結果をふまえ、制度の変更や拡充を行う場合には、R7.5月頃から始まるR8年度予算のための実施計画にて、事業調整していく予定。

（参考）産業振興補助金の利用者について

平成30年度から実施している産業振興補助金は、6年間で59事業、のべ33社に対して4,747,300円を補助金として交付している。33社の内訳は・・・

業種



事業規模

